

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

Kanagawa Philharmonic Orchestra

宇宙を揺るがす愛の讃歌「トゥランガリーラ交響曲」

8/8金

【プレトーク】

18:20~18:40

話=沼尻竜典

原田 節

※本公演と同じお席でお楽しみください。

【開 演】19:00

【終演予定】20:30

※途中休憩はありません。

出演

指揮：沼尻竜典(神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽監督)

Ryusuke Numajiri (Kanagawa Philharmonic Orchestra Music Director), *Conductor*

ピアノ：北村朋幹

Tomoki Kitamura, *Piano*

オンド・マルトノ：原田 節

Takashi Harada, *Ondes Martenot*

コンサートマスター：石田泰尚

Yasunao Ishida, *Concertmaster*

曲目

メシアン：トゥランガリーラ交響曲

〔75分〕

Messiaen: Turangalila-Symphonie

- 第1楽章 「序奏」
- 第2楽章 「愛の歌 第1」
- 第3楽章 「トゥランガリーラ 第1」
- 第4楽章 「愛の歌 第2」
- 第5楽章 「星々の血の喜び」
- 第6楽章 「愛の眠りの園」
- 第7楽章 「トゥランガリーラ 第2」
- 第8楽章 「愛の展開」
- 第9楽章 「トゥランガリーラ 第3」
- 第10楽章 「終曲」

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

川崎
Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

音楽のまちかわさき

文化庁

20世紀音楽史に燦然と輝く 宇宙的スケールによる愛と喜びの讃歌

メシアン：トゥランガリーラ交響曲

メシアンの名を世界に知らしめた出世作

フランスの作曲家オリヴィエ・メシアン（1908～1992）は、カトリック信仰（自身教会オルガニストでもあった）、鳥の歌、自然といったユニークな事物にインスピレーションを得ながら、独特の色彩感あふれる音楽を作り続けた。

1940年代、故国で作曲家としての地歩を築いた30代後半のメシアンは、アメリカの音楽界でも少しずつ知られるようになっていった。こうして彼はアメリカの指揮者・コントラバス奏者で、さまざまな有名作曲家に委嘱を行っていたセルゲイ・クーセヴィツキー（1874～1951）から、ひとつの作品を書いてほしいという手紙を受け取る。長さや編成を含め、どのような音楽にするかは完全に自由だった。

そうして彼が約2年半を費やして作曲したのが『トゥランガリーラ交響曲』（1946～1948、1990改訂）である。メシアンが当時の自身の音楽語法をすべて盛り込んだこの大作は、「交響曲」と題されていないが、慣習的な4楽章を大きく超える10の楽章からなり、ピアノと電子楽器オンド・マルトノを独奏楽器として扱う。一部の打楽器の賑々しい響きは、インドネシアのガムランを念頭においたものとメシアン自身説明している。演奏時間は約75分、総演奏者数は103人、まさしく破格の交響曲である。クーセヴィツキーが早くも初演時に「この交響曲は『春の祭典』以降、20世紀に作曲されたもっとも偉大な作品である」と喝破した本作は、豪勢かつ緻密なオーケストラの響きの迫力と面白さ、宇宙的で壮大なテーマのおかげで、世界各地のオーケストラがこぞ取り上げる「20世紀の古典」となったのだった。

時空を超えた愛の表現

メシアンによれば、サンスクリット語で「トゥランガ」はリズムの推移、「リーラ」は神々による創造と破壊、「トゥランガリーラ」は「愛の歌、リズムの研究、喜びの讃歌」を意味するという。インドのリズムと古代ギリシャの韻律に関心を抱いていたメシアンらしいタイトルである。

彼はまた、同時期に書いた歌曲集『ハラウィ』（1945）、無伴奏合唱曲『5つのルシャン』（1948）と本作品を合わせて「トリスタン三部作」と呼んでいる。英文学者の父と詩人の母をもち、文学に造詣の深かったメシアンにとって、かつてワーグナーもオペラの題材とした中世のトリスタンとイゾー（イゾルデ）の愛の物語は馴染み深かったのだろう。三部作のなかでも、交響曲でとりわけ彼がテーマとしたのは恋人たちの盲目的な喜びと際限のない愛、死と表裏一体にある愛だった。メシアンがこうしたテーマを思いついた背景として、彼が当時教え始めたばかりのパリ音楽院ですぐれたピアニスト、イヴォンヌ・ロリオ（1924～2010）と出会い、2台ピアノ演奏での共演を通してロリオと関係を深めた傍ら、妻であったクレール・デルボス（1906～1959）の健康が悪化の一途を辿った（メシアンはデルボスの没後、1961年にロリオと再婚した）という生々しい事実がしばしば指摘されてきた。他方で近年では、当時彼を魅了していた、夢と現実の境目を曖昧にし超現実を目ざすフランス文学の潮流、シュルレアリスムが構想に寄与したことも注目されている。

4つの主題と2つの楽章系列

全体は、「愛の歌」の楽章（第2、4、8楽章）と、リズムなどの音楽語法の探究を旨とする「トゥランガリーラ」の楽章（第3、7、9楽章）の2つの系列に、第1楽章（序奏）と第10楽章（終曲）、第5、6楽章が組み込まれるという構成をとる。両端と中央におかれた、2つの系列の統合ともいえるこれら4つの楽章はいわば本作品のエッセンスであり、いずれも強烈な個性を示す。第6楽章では、後にメシアンの音楽を特徴づけることになる鳥の歌も現れる。

本作にはまた4つの主題が登場する。第1楽章で現れ

る「彫像の主題」は、もっぱらトロンボーンが奏する力強い3度音程で、メシアンによればこれは古代メキシコの建造物を彷彿とさせる。やはり第1楽章で初出の2本のクラリネットによる「花の主題」は、すらりとした花穂に交互に花が咲くグラジオラスを想起させるという。第2楽章以降何度か登場する「和音の主題」は、純粋に音楽的な機能を担っており、本主題のみ耳では把握しがたい。第6楽章で聴かれる、甘美な旋律と艶めかしい和音による「愛の主題」は、第8楽章のクライマックスで高らかに奏されたあと、終楽章で息をもつかせぬ熱狂的な大団円を導く。

■ 文=原田 節

オンド・マルトノとは？

フランスの音楽家であり、電気技師でもあったモリス・マルトノ（1898～1980）は、第一次世界大戦（1914～1918）で通信兵として召集されました。暁の塹壕の中で聞こえてくる、当時の通信機に使われていた真空管から発せられる非常にピュアな発信音に、音楽家としてのマルトノは注目しました。この音を楽器のようにコントロールできれば、誰もがまだ知らない新しい楽器を作ることができるという着眼点でした。

戦後、マルトノはパリへ帰還し、そこから約10年間の研究を経て、1928年にパリのオペラ座で最初の公開演奏会が開催されました。集まった著名な文化人たちは、その豊かな表現力と、楽器そのものが持つ心身をリラックスさせてくれる力に大いに驚かされました。彼らは、これこそフランス文化の結晶であると感じ、新しい作品の委嘱、楽器の制作、演奏家の育成と、あらゆる側面でサポートを続けることとなります。

また、電気技師としての科学者の側面だけでなく、

音楽家としてチェロを自分の楽器としてマスターしていたマルトノは、弦楽器の演奏法を強く反映させたり、吊るした銅鑼や24本の弦の振動を音源として併用したりと、科学と芸術を一人の人間の内に融合させていました。

メシアンの『トゥランガリーラ交響曲』においても、この楽器は他のいかなる楽器とも異なる音像を持ち、時には女声の輝きのようにも、また遠い宇宙からのメッセージのようにも感じられます。大編成のオーケストラにおいては、時には寄り添い溶け込み、また時には対峙するなど、さまざまな表情を聴かせてくれます。

メシアン自身はオンド・マルトノについて、「その音が大オーケストラを支配し、凌駕することを恐れてはならない」とのアドバイスを残しています。



©Andy Lee

■出演者プロフィール



指揮：沼尻竜典 Ryusuke Numajiri, *Conductor*

2022年4月より神奈川フィルの音楽監督に就任。これまで国内外数々のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、リューベック・フィルとのコンサートの双方において多くの名演を残した。ベルリン、ロンドン、パリ、モントリオール、シドニー等世界各国のオーケストラ、ケルン、ミュンヘン、ベルリン、バーゼル、シドニー等の歌劇場へも客演を重ねている。芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、ミハエル・ハンペの新演出による『ニーベルングの指環』を上演、空前の成功を収めた。2014年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ『竹取物語』を作曲・初演、国内外で再演されている。2017年紫綬褒章受章。



ピアノ：北村朋幹 Tomoki Kitamura, *Piano*

東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞受賞をはじめ、浜松、シドニー、リーズなどの国際コンクールで入賞。独自のプログラミング・センスで展開するソロリサイタルをはじめ、オーケストラとの共演、室内楽、古楽器による演奏活動を日本とヨーロッパ各地で定期的に行っている。録音は、6タイトルのソロアルバムをフォンテックよりリリースし、『リスト 巡礼の年 全3年』ほかの成果により、令和6年度(第75回)芸術選奨 音楽部門 文部科学大臣新人賞を受賞。そのほか第76回文化庁芸術祭賞レコード部門優秀賞、第22回佐治敬三賞を受賞。東京藝術大学に入学後、ベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。フランクフルト音楽・舞台芸術大学では歴史的奏法の研究に取り組んだ。ベルリン在住。

©TAKA MAYUMI



オンド・マルトノ：原田 節 Takashi Harada, *Ondes Martenot*

慶應義塾大学経済学部を卒業後、強烈な自己表現力を持つオンド・マルトノとの出会いを機に渡仏。パリ国立高等音楽院オンド・マルトノ科を首席で卒業し、オンド・マルトノを独奏楽器として演奏する数少ないソリストとして活躍。出光音楽賞、横浜文化奨励賞、ミュージック・ペンクラブ賞など受賞多数。また、オリヴィエ・メシアン作曲『トゥランガリーラ交響曲』は、オンド・マルトノが主役として活躍する楽曲であり、日本国内に留まらず、ソリストとしてカーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニーホール、シャンゼリゼ劇場、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座といった主要な劇場における世界最高峰のオーケストラとの共演は20ヶ国350回を超える。

©Yutaka Hamano

■オーケストラ・プロフィール

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra



- 【創 設】 1970年、神奈川県内の音楽家が集まり「ロリエ管弦楽団」として発足。翌年から現在の名称に。
- 【指揮者】 沼尻竜典(音楽監督)、小泉和裕(特別客演指揮者)、現田茂夫(名誉指揮者)、團伊玖磨(桂冠芸術顧問・故人)、山田一雄(桂冠指揮者・故人)、小林雄太(副指揮者)
- 【ホーム・コンサート・ホール】 横浜みなとみらいホール、神奈川県民ホール、神奈川県立音楽堂
- 【楽団ウェブサイト】 <https://www.kanaphil.or.jp/>

サマーミュージア特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いいたします。

- ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
 開場・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

<p>【特別賛助会員】</p> <p>法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎幸病院 川崎信用金庫 キャノン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェトロ株式会社 三井不動産グループ 	<p>【賛助会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 有限会社エムシーエス・デザインズ 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファブ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケー株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ 	<ul style="list-style-type: none"> セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 ぴあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイヤーソリューションズ * 大宮町内会 他3法人 <p>【わくわくミュージア法人サポーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲毛神社 おつけもの慶
---	---	--	--	---

<p>個人</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一 	<ul style="list-style-type: none"> 遠藤智和 大越麻美子 大須賀徳也 大塚具幸 岡垣克則 	<ul style="list-style-type: none"> 小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰 	<ul style="list-style-type: none"> 金山直樹 喜多紘一 木伏源太 久住映子 小菅みつほ 	<ul style="list-style-type: none"> 国府保周 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂 	<ul style="list-style-type: none"> 佐藤義寛 新保和浩 杉山弘子 鈴木甚郎 都築 豊 鈴木 徹 	<ul style="list-style-type: none"> 高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子 	<ul style="list-style-type: none"> 西 洋子 西山英昭 長谷川喜代江 林 直人 廣瀬治昇 	<ul style="list-style-type: none"> 藤嶋とみ子 堀江智巳 前田 泉 松嶋邦生 山内利夫 	<ul style="list-style-type: none"> 山下啓史 山田昌克 D.Y K.O M.C 	<ul style="list-style-type: none"> N.A T.Y 他匿名16名 敬称略五十音順
--	--	--	---	--	--	---	--	---	---	---

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。